

PSAT, SAT, ACT と AP プログラム情報要約

PSAT に関して

10 – 11 年生で予備 SAT/全国功績奨学金取得試験(PSAT/NMSQT 試験)の試験を受けることができる。この試験でとった成績は、大学入学に反映されないが、SAT でどれだけできるかという把握ができ、大学入学願書の大事な一部となり、希望する短大、大学に入学できるかどうかの判断をする手助けとなる。

PSAT 試験は、読書力、数学力と筆記力を批評し、SAT の練習となり、SAT を受ける際、どれくらい出来るかの把握となる。学校内外両方で、これらの能力が年月を超えて上達する。この試験は、授業で学んだ内容を反映するものではない。11 年生で、米国市民である場合、PSAT を受けることで全国功績奨学金取得試験(NMSC)の奨学金競争への資格がある。

SAT に関して

SAT 論理思考試験は、国(米国)で最も幅広く短大と大学の間で利用されている入学試験である。高校の3年生(ジュニア)と4年生(シニア)は、一般的に SAT を受ける。これは、生徒がどのように考え、問題を解決し、コミュニケーションするのかを含み、教室内外で学習した技能と知識をどれほど使えるのかわかる。ACT が学力検査である一方、適性検査でもある。

SAT の各項目は、選択問題とエッセイの二つのライティングの補助成績 200 – 800 の基準で点数づけられる。米国、プエルトリコと米国領では、年に 7 回、海外では年に 6 回行われる。

ACT に関して

SAT のように、ACT は、大学が入学希望者を評価するための手助けとなる全国的に行われる標準に合わせられた筆記試験である。今日大学では、ACT または SAT の成績を区別せずに受け入れる。これは、どちらの試験でより良い成績をとれるかを決める機会があるといえる。多くの場合、生徒は両方の試験を受ける準備をする。

通常、3 年生(ジュニア)の春に最初の ACT を受ける。これは夏期に大学入学願書の予約ができる、または、試験の成績に満足できない場合、4 年生(シニア)の秋に試験の取り直しをする十分な時間を与えることとなる。

AP(アドバンスト・プレースメント：特に高い学力の高校生に対してカレッジ・ボードが大学レベルのカリキュラムを与える)プログラム

AP プログラムは、高校と短大と大学間で教育上の努力を共同して行うものである。1955 年発足以来、このプログラムは高校で大学レベルの科目を取る機会を得ることで高校生に意欲を与えている。このプログラムに参加する生徒は、大学レベルの技能を得るだけでなく、多くの場合、高校に在学中でも大学の単位も得ることができる。カレッジ・ボード(カレッジや大学の入学基準として使用され適性(学力)試験を実施するサービス)により開発、発行されたコースのガイドラインに沿う、ひたむきで、熱心な高校教師が AP コースを教える。

このプログラムの成功は、やる気のある生徒、献身的な教師と熱心に取り組む学校の共同努力に根差されている。このプログラムに参加することにより、高校は大学 1 年の科目に同等とされる最低 1 科目を計画し支持することを約束させる。

AP プログラムは、20 教科で 35 コースを提供している。

- 米国 60%近くの高校が AP プログラムに参加している。
- 2005 年には、世界中で 210 万件の AP 試験が施行された。
- 世界中の 6 万以上の教師が昨年 AP ワークショップと専門的能力の開発の学会に出席した。
- 90%以上の国の短大と大学は、AP 試験の成績の資格を取得するため、入学してくる生徒の単位、クラス分け、または両方を許可する AP のポリシー(規則)を持っている。

ACT 対 SAT : ACT と SAT 間の違いの鍵

ACT 対 SAT : どちらの試験がより生徒に合うか？生徒は生徒が好む試験のどちらを受けても良い(両試験を受けられる可能な地域があるのではないと思われる。)お子さんがどちらの試験が好ましいかが不確かな場合、ACT と SAT 間の違いの鍵を考慮する。ある生徒は SAT よりももっと ACT で長所を満たすことを見出し、また逆も同様のことが言える。

試験内容の簡潔な対象比較が必要か？ACT と SAT の比較表を参照。下記の情報は 2016 年 1 月まで施行され現在の SAT に適用されていることを留意しておく。新版の SAT と比較する ACT は、2016 年 3 月に提示され、この分析画像を再考察する。

SAT	vs.	ACT
論理思考試験	試験のタイプ	内容に基づく試験
解釈：25分のセクションが2部、20分のセクションが1部；数学：25分のセクションが2部、20分のセクションが1部；ライティング：25分のエッセイが1部、25分のセクションが1部、10分のセクションが1部	試験の形式	英語：45分のセクションが1部；数学：60分のセクションが1部；リーディング：35分のセクションが1部；科学：35分のセクションが1部；ライティング：40分のエッセイが1部(オプション)
リーディング、語彙、文法と用法、ライティングと数学	カバー内容	文法と用法、数学、リーディング、科学的推論とライティング(オプション)
巧妙な問題が解釈を難しくさせる表現がある	テストスタイル	単刀直入な問題は長いかもしれないが、通常解釈するにはそれほど難しくはない
数学、解釈とライティングの成績は、各範囲内 200-800；全 SAT の成績の範囲内は、600-2400	成績	英語、数学、リーディングと科学の成績は、各範囲内 1-36。複合の ACT の成績は、4つのセクション上の平均；範囲内 1-36
はい、不正解に4分の1の減点(数学の図形に記載するものを除く)	答えを間違うと減点？	いいえ、不正解での減点はない
はい、大学に提出する SAT の成績を選択することができる	成績の選択	はい、大学に提出する ACT の成績を選択することができる
問題はセクションを進むにつれ難しさのレベルが上がっていく(年代的に1節を通して進展する読みの1節問題を除く)	難問のレベル	問題の難しさのレベルは、ばらばら
算術、データ解析、代数 I と II、関数、幾何学；公式はテストの冊子にある	数学のレベル	算術、代数 I と II、関数、幾何学、三角法；公式はなし
私立と東と西海岸の学校；米国の各4年制大学では SAT の成績を受け入れる	もっと好まれる傾向は？	公立の学校と中西部と南部の学校；米国の各4年制大学では SAT の成績を受け入れる
毎年7回：1月、3月、 または、4月、5月、6月、10月、11月、12月	試験期間は？	毎年6回：2月、4月、6月、9月、10月、12月(いくつかの州は、州の必須試験として ACT を提供している；これらの試験は全国的な試験日に施行されない
通常試験日の約4週間前	登録期限は？	通常試験日の約5・6週間前
www.collegeboard.com	詳細	www.act.org

*** 上記は以下のウェブサイトからの抜粋：<http://www.studypoint.com/ed/act-vs-sat/>